













監視

方名	主治効能	原料製法ノ大體	免許ノ年
昭和五年四月	蛔蟲、蟯蟲下シ	サントニン 〇・〇九 澱粉 〇・五〇 右二味ヲ均等ニ混和シ三包ニ分テ三回分トナス	昭和五年四月
同	蛔蟲下シ	サントニン 〇・一〇 澱粉 〇・五〇 右ヲ調合シテ散薬トナシ之ヲ二包ニ分テ二回分トナス	同
同	蛔蟲下シ	フエノール フタレイン 〇・一〇 右混和シ一包トナス(除薬包紙ニ包ム)	同
同	蛔蟲ヲ驅除シ、併セテ下劑トシテ効アリ	右混和シ一包トナス(除薬包紙ニ包ム) フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲ヲ下ス	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲驅除	右分十包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲、鞭蟲驅除	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲下シ	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲下シ	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲、驅除	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲ノ驅除	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲ニ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲下シ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲等ノ驅除ニ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲驅除	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
同	蛔蟲、蟯蟲、殺蟲藥トシテ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同

方名	主治効能	原料製法ノ大體	免許ノ年
七メ	蛔蟲下シ	サントニン 〇・一〇 澱粉 〇・五〇 右二味ヲ均等ニ混和シ三回分トナス	昭和五年四月
ハメ	蛔蟲下シ	サントニン 〇・一〇 澱粉 〇・五〇 右ヲ調合シテ散薬トナシ之ヲ二包ニ分テ二回分トナス	同
大メ	蛔蟲下シ	フエノール フタレイン 〇・一〇 右混和シ一包トナス(除薬包紙ニ包ム)	同
七メ	蛔蟲ヲ驅除シ、併セテ下劑トシテ効アリ	右混和シ一包トナス(除薬包紙ニ包ム) フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
ハメ	蛔蟲、蟯蟲ヲ下ス	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲驅除	右分十包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲、鞭蟲驅除	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲下シ	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲下シ	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲、驅除	右混和シ一包トナス フエノール フタレイン 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲ノ驅除	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲ニ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲下シ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲等ノ驅除ニ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲驅除	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同
七メ	蛔蟲、蟯蟲、殺蟲藥トシテ効アリ	右研和シ三包トナス アセトアニリド 〇・一〇 乳糖 〇・五〇	同

### 第十四章 寄生蟲驅除の民間薬調査

#### 第一節 寄生蟲驅除の民間薬に就て

各種寄生蟲の驅除に用ひらるゝ民間薬は昔から可成多數の種類が知られてゐる。現時主に用ひらるゝものを各府縣に調査を依頼した、其の結果三十三縣から四百二十八種の(本縣を含む)回答を得た、それを蛔蟲、十二指腸蟲、條蟲、一般民間驅除薬に分類して見た。(別表参照)

一、蛔蟲驅除薬では蛔蟲が廣く多數に寄生してゐて最もよく知られてゐる關係上驅除薬の種類も亦最も多く四百廿八種中一五五種もある其の中で各地共に最も多く服用せらるゝものは植物の根、莖、皮、及び葉又は實を煎じたもので稀に昆蟲類もある尙、海人草煎劑又はせめんしいなを始めとして植物の種子の炮つたものなどを合計すると植物を原料としたものが實に一二種である。そして果して効能があるか否かは不明であるけれども能く調査研究したならば確効又は相當の効果あるものが絶無ではないであらう。と思はるゝものもある。例へば朝顔の種ほうづきの根及實よもぎの葉、南瓜の種、菖蒲、無花果の根、枳の葉、等はそれである。次に古來民間薬として一般に使用されてゐたものは前記の海人草、せめんしいな、綿馬根、どくだみ、檳榔子、榧の實、にんにく、熊の膽、せんぶり、ほうづき、せんだん、いぬたせ、百部根、苦楝皮、當藥、黒胡椒、山椒、烏藥、使君子、りんどう、等が蛔蟲驅除薬として盛んに賞用され又書籍にも適効あるものとして記載されてゐる。

二、十二指腸蟲驅除薬では九九種あるが其の中の八四種は植物の莖、根、皮、葉の煎劑か植物の種子から出來た驅除薬である。依つて驅除薬の大部分は植物性のものと云ふてよろしい。之れ等九十九種の民間薬中蛔蟲薬の場合と同様に研究して見るならば何等かの意義のありさうなものと思はれるものは大蒜、山椒の根皮、實、げんのしようこ、青松葉、飯匙草、南天の葉、田螺、等である。次に古來民間薬として廣く使用してゐる種類は柘榴根皮、にら飯、あさくら山椒、大蒜、くれんび、榧の實、胡桃等で何れも相當効果のあるものであらう。

三、條蟲驅除薬では六二種中植物の煎劑が四一種で植物の種子が一種で計五二種であつて之れ又大部分植物性の原料に依るものである。かの柘榴根皮、綿馬根、かまら、りんどう、百部根、檳榔子、及榧の實等は何れも古來より條蟲驅除薬として一般に使用せられ、又漢醫の好んで用ひたものである。

四、一般の寄生蟲驅除薬を見るにこれ亦、植物性のものが多く七五種中で植物煎劑が四二種で植物種子によるものが一二種で計五四種である。之れに依つて見るに民間の驅除薬は三九一種中三〇二種は植物の莖、根、皮、葉、及び植物種子の煎劑とか、炮つたり、焼いたりしたもので勿論民間薬の九分は植物性の原料に依るものである。而して茲には一般寄生蟲驅除薬として各府縣から回答せられたものを纏めたものであつて實は蛔蟲、十二指腸蟲、條蟲の條下に在るものが再び茲に掲載せられたに過ぎない。

品名	原料品	植物		植物種子	小計	サントニン	魚蟲類	其他不詳ノモノ	計
		葉根皮莖	海人草						
蛔蟲	六二		二八	二二	一一二	一〇	一六	一七	一五五
十二指腸蟲	六四		三	一七	八四	一	二	一二	九九
條蟲	三九		二	一一	五二	一	一	八	六二
一般驅除蟲	三七		五	一一	五四	四	五	四九	一一二
計	二〇二		三八	六二	三〇二	一六	一四	八六	四一八

應府縣寄生蟲民間薬調査蛔蟲驅除薬

京都府

品名	價	格	原料	大體	創メテ使用セラレタル年
イタクニン錠	大人一日分	三十錢	海人草		大正十五年
イタクニンゼリ	同	二十錢	同		同 十三年
イタクリ	同	三錢	同		今ヲ去ルコト數百年前
セメン葉子	同	三十五錢	サントニン		大正十三年
セントニン錠	同	二十錢	同		數十年前
セントニン錠	同	三十錢	海人草		大正十二年
セントニン錠	同	二十五錢	サントニン		明治四十二年
セントニン錠	同	二十五錢	同		大正十年
セントニン錠	同	二十錢	同		明治三十七年
生肌錠	同	二十錢	同		同 三十四年



セメンシイナ	一包(十錠入)	五圓	苦味アル草ノ實ノ一種	不詳
アンテナニン		十錢	海人草	大正十一年

大阪府

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
海人草(まくり)	一斤	一圓内外	海藻	
セメン	一袋	十錢	サントニン	

長崎縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
セメンニン	一圓	十錢	サントニン	不詳
柘榴ノ煎劑	不詳		柘榴ノ根又ハ實ヲ煎ジテ用ユ	
マクニシゼリ	一罐	二十錢、五十錢、一圓	海人草	
マクニシ	一袋	二十錢、五十錢、一圓	同	
荒セメ	一圓	十錢	雜草ノ實	
荒セメ	一圓	二十錢	海人草	
荒セメ	一圓	二十錢	同	
ツリガネセメン	一回	二十錢	サントニン	
ツリガネ	生煎一斤	八十錢	辟香騰其ノ他	不詳
肥兒丸	一袋	二十錢	同	
肥兒丸	一袋	二十錢	南洋方面ノ産ニシテセメン、サントニンノ原料ニナルモノ	
肥兒丸	一袋	十錢	同	

群馬縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
蟲殺草根	不明		中殺草ヲ陰干トシ水五合ニ入レ一合ニ煎出ス「クサギ」ト稱スル木ノ中ニ棲息スル蟲ヲ火ニテ焙リ陰干トナシテ服用	不明
クサキ草ノ蟲	同		「ニンニク」ノ根	
クサキ草ノ蟲	同		良ク熟シタルモノ、根ヲ乾シ煎ジテ服用ス	
クサキ草ノ蟲	同			
クサキ草ノ蟲	同			
クサキ草ノ蟲	同			

千葉縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
海馬の根				

栃木縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
海人草	一匁	三錢		不明
海人草	同			
海人草	同			



富山縣

品名	孫太郎根皮	價	十匁	格	十錢	原料ノ大體	孫太郎根皮ヲ乾シテ粉トナシ煎ジテ飲ム センダンノ根皮ヲ水ニ入レ其中ニ鷄卵ヲ入レ煮 乾シテ煎用ス 主成分 サントニン 九州及琉球等ニ於テ産スル「マクリ」ト稱スル 海藻ヲ乾燥シ製シタルモノ	創メテ使用セラレタル年	不詳
品名	海人草	價	一匁	格	十錢	原料ノ大體	佐渡ノ沿岸ニ産スル海藻ニシテ海人草ニ類似ノ モノ 越後ノ頸城、刈羽等ノ沿岸ニ産スル海藻ナリ	詳ラカナラズ	

廣島縣

品名	クサギ及クサギノ蟲	價		格		原料ノ大體	煎汁 十匁ヲ煎服ス 黒燒	創メテ使用セラレタル年	不詳
品名	海人草	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	車前草	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	イモダシ	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	葛	價		格		原料ノ大體	同	同	同

佐賀縣

品名	ホトトギス	價		格		原料ノ大體	ホトトギスノ實ヲ生デタベレバ小兒ノ蟲下シトナ ル 植物ノ實ニシテ藥種屬ニアリ	創メテ使用セラレタル年	不詳
品名	セメシ	價		格		原料ノ大體	同	同	同

宮城縣

品名	海人草	價		格		原料ノ大體	海人草ツノマ、ノ煎用有效ナリ	創メテ使用セラレタル年	同
品名	烏梅	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	巴豆	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	百部	價		格		原料ノ大體	同	同	同
品名	苦楝	價		格		原料ノ大體	同	同	同

新潟縣

品名	無花果	價	一升	格	三十錢位	原料ノ大體	無花果ノ根ヲ煎用 小兒一日五、六粒 海人草	創メテ使用セラレタル年	從前ヨリトアリテ年不詳
品名	楓葉	價	大人二十五回分	格	二四	原料ノ大體	同	同	同
品名	マクニ	價	三分	格	五十錢	原料ノ大體	一合ノ水ニ柏葉十枚位ヲ入レ五勺ニ煎ス 不詳	同	同
品名	トク	價	一匁	格	十五錢	原料ノ大體	煎出シテ用フ	同	同
品名	保嬰丸	價	二十回	格	十錢	原料ノ大體	義木二匁、木通二匁、茯神二匁其ノ他數種 野生ノネコアシト稱スルモノ	同	大正六年 不詳
品名	ケキイゴ草 (現今殆ど川ヒラレズ)	價	不明	格		原料ノ大體	佐渡ノ沿岸ニ産スル海藻ニシテ海人草ニ類似ノ モノ 越後ノ頸城、刈羽等ノ沿岸ニ産スル海藻ナリ	創メテ使用セラレタル年	詳ラカナラズ





(二) 十二指腸蟲驅除藥

京都府

品名	純四鹽化炭素球	價	六人一日分	格	十二錢	原料ノ大體	鹽化炭素	創メテ使用セラレタル年	昭和二年
----	---------	---	-------	---	-----	-------	------	-------------	------

大阪府

品名	柘榴根皮	價	一斤	格	五十錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	
----	------	---	----	---	-----	-------	--	-------------	--

長崎縣

品名	柘榴ノ根	價	不詳	格	不詳	原料ノ大體	柘榴ノ根又ハ實ヲ煎ジテ用ユ 四鹽化炭素チモールナフタリン 石菅根ノ皮 雜草ノ實 海草ノ一種	創メテ使用セラレタル年	不詳
品名	十二指腸蟲丸	價	一週間分	格	一四二十錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	不詳
品名	石菅根皮	價	一日分	格	十五錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	同
品名	雜草ノ實	價	一回	格	十錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	同
品名	海草ノ一種	價	同	格	十錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	同
品名	モールナフタリン	價	二十二日分	格	一四錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	同
品名	生鹽一斤	價	同	格	八十錢	原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	同
品名	飯	價	不詳	格	不詳	原料ノ大體	ニラト稱スル植物ヲ混シテ飯ヲ炊キ之ヲ食シタル後下痢ヲ服用ス	創メテ使用セラレタル年	同

品名	アサクラ山椒	價	一回	格	五錢	原料ノ大體	モギヨット煎劑シテ用フ アサクラ山椒ヲ煎ジテ用ユ	創メテ使用セラレタル年	同
----	--------	---	----	---	----	-------	-----------------------------	-------------	---

品名	大柘榴根	價		格		原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	
----	------	---	--	---	--	-------	--	-------------	--

群馬縣

品名	ザクロノ皮及根	價	不明	格		原料ノ大體	ザクロノ根及皮ヲ藍干トナシ切斷シタルモノヲ煎ジテ服用ス	創メテ使用セラレタル年	不明
----	---------	---	----	---	--	-------	-----------------------------	-------------	----

千葉縣

品名	柘榴ノ根皮	價		格		原料ノ大體		創メテ使用セラレタル年	
----	-------	---	--	---	--	-------	--	-------------	--

愛知縣

品名	柘榴根皮柘	價	一斤	格	四十錢	原料ノ大體	柘榴樹ヨリ採ル	創メテ使用セラレタル年	古來ヨリ使用セラレタルモノニシテ年月不明
----	-------	---	----	---	-----	-------	---------	-------------	----------------------



品名	ニント1 莖	價	格	原料ノ大體	ニント1莖二百匁ヲ水一升ニ煎ジテ服用ス センダンノ皮ヲ煎ジテ服用 クラノ根ヲ同上 クサギノ大葉ヲ同上 オバエノ實ヲ同上 柘榴ノ根ヲ煎ジテ同上	創メテ使用セラレタル年
品名	クレンビ	價	格	原料ノ大體	同上	不詳
品名	クサギノ木	價	格	原料ノ大體	同上	同上
品名	オバエノ實	價	格	原料ノ大體	同上	同上
品名	柘榴ノ皮	價	格	原料ノ大體	同上	同上

品名	ニ 莖	價	格	原料ノ大體	煎ヲ食シテ驅蟲ヲナスモノアリト云フ 大蒜ヲ食シテ驅蟲スルモノアリト云フ 木ノ實 巴豆ヨリ採リタル油 漆ヲ乾シタルモノ	創メテ使用セラレタル年
品名	大 莖	價	格	原料ノ大體	同上	不詳
品名	柘 莖	價	格	原料ノ大體	同上	同上
品名	巴 莖	價	格	原料ノ大體	同上	同上
品名	乾 莖	價	格	原料ノ大體	同上	同上

品名	柘榴ノ根	價	格	原料ノ大體	一斤 七分	創メテ使用セラレタル年
品名	柘榴ノ皮	價	格	原料ノ大體	六十錢	古來ヨリ
品名	柘榴ノ莖	價	格	原料ノ大體	七十錢	大正十五年

品名	柘ノ實 (柘油ノ天鼓藏ヲ食スルモノ)	價	格	原料ノ大體	一位科ニ屬スル柘ノ實ナリ	創メテ使用セラレタル年
品名	柘ノ莖	價	格	原料ノ大體	同上	不詳

品名	柘ノ實	價	格	原料ノ大體	同上	創メテ使用セラレタル年
品名	柘ノ莖	價	格	原料ノ大體	同上	同上

品名	飯匙草	價	格	原料ノ大體	ハブ草ノ葉ト根	創メテ使用セラレタル年
品名	海人草	價	格	原料ノ大體	五瓦乃至十五瓦ヲ煎用ス	創メテ使用セラレタル年

品名	海人草	價	格	原料ノ大體	同上	創メテ使用セラレタル年
品名	白ザクロ根	價	格	原料ノ大體	同上	同上

品名	白ザクロ根	價	格	原料ノ大體	同上	創メテ使用セラレタル年
品名	野生ノモノニテ別ニ價格ナシ	價	格	原料ノ大體	同上	不詳



か ん き う 草	同	約四五百年前ナリト
十二指腸薬	不詳	同
ニ ン ニ ク	野生ノモノニテ價格ナシ 別ニナシ	同
概 ノ 貨	概ノ貨ヲ日光ニ乾シ毎日適宜ニ食ス	大正三年五月

兵庫縣

品名	價	原 料	大 體	創メテ使用セラレタル年
柘榴根皮	一匁一錢(林田)一合十錢(兵庫)一斤三十錢(豊岡)	柘榴ノ根皮ヲ乾燥セルモノヲ煎シテ服用	不	不明
柘榴ノ油	二匁一錢(淡川)	山野ニフル柘ノ實ヲ採取シタルモノ	同	同
南瓜ノ種子	一匁二錢(林田) 一斤三四(兵庫)	夏季栽培サル南瓜ノ種子ヲ採取シタルモノヲ適當ニ日光ニ乾燥セルモノ	同	不明ナルモ約數百年前ヨリ約三十年前ヨリ(赤穂)
ア ン テ ニ ン	五百五二十錢(須磨)	サントニンヲ主藥トシテ乳糖ヲ加フ(須磨)シナ花(豊岡)	同	不明ナルモ數年前ヨリ約四ヶ年前ヨリ(中村)古來ヨリ(山崎)
南 天 ノ 葉	不詳	柘榴皮	不	往古ヨリ服用
セ メ ン 子	十五二十錢	煎ジテ服用ス	不	不明ナルモ數百年前ヨリ
カ シ ラ 樹 皮	一オンス五十錢(須磨)	陰干トシテ煎ジテ用ユ	不	不明ナルモ數十年前ヨリ
サ ン ト ニ ン 菓 子	大形 五十錢	植物ヨリ採取ス	不	不明ナルモ數十年前ヨリ
田 螺		藤干トナツ煎ジテ用ユ	不	不明
		河川ニ棲息セルモノ貝ノ肉ヲ採リ其儘用ユ	同	同

(三) 條蟲驅除薬

京都府

品名	價	原 料	大 體	創メテ使用セラレタル年
柘榴ノ根皮	大人一日分二錢	柘榴ノ根皮	同	今ヲ去ルコト數百年前
概ノ貨	一斤八十錢	概ノ貨煎ジ藥	不詳	不詳
ア ン テ ニ ン	一包(十錠入) 十錢	海人草	不詳	大正十一年
概 ノ 貨	一袋 一四三十錢	不詳	不詳	不詳

長崎縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
龍眼根	一斤五十錢		

千葉縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
榧ノ實	不詳	榧ノ實ヲ煎ジテ用ユ	不詳

栃木縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
鹿んにんにく			

山梨縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
コソソ花	不明		不明

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
ゲンノシヨウコ	不明	ゲンノシヨウコヲ煎ジテ服用	不詳

岐阜縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
栝樹ノ皮	古來ヨリ		
栝樹ノ新芽	一升二十五錢位		
松ノ新芽	小東五把約十錢		
樺ノ新芽	一斤約八十錢		
ハナハ		綿馬ノ根ヲ陰乾ニシタルモノ	約百年前
總馬根		野生ノ草	不明
大葉子菜根		乾シタルモノヲ煎ジテ飲メバ驅除ス	同
モギノ實			同
蕒			同
煎藥		栝樹ノ根セキシヨウ(草)根	同

富山縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
栝樹ノ皮	百匁十錢	皮根ヲ陰干ニシテ煎用ス	不明
ザクノ根	十匁十錢	ザクノ根	同
リンドウノ根	同十錢	リンドウノ根ヲ乾シテ煎ジテ飲ム	同

徳島縣

品名	價	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
栝樹ノ根		栝樹ノ根ヲ煎ジテ服用	不詳



京都府

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
アంతニ	一包(十錠入)	十錢	海人草	大正十一年

長崎縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
根ノ實ヲ煎ジテ用ユ 蟲ヲ黑燒ニシテ用ユ	不詳			不詳

埼玉縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
青ノ葉	五百分	五十錢	蛇、蕨ノ類	明治二十年三月

千葉縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
赤にんにき				

山梨縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
ゲンノシヨウコ			ゲンノシヨウコヲ煎ジテ服用	

岐阜縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
根ノ實	小東五把 一斤約	約十錢 八十錢	綿馬ノ根ヲ陰乾シニシタルモノ 野生ノ草 乾シタルモノヲ煎ジテ飲メバ驅除ス	不 約百年前 不 同 同

長野縣

品名	價	格	原料ノ大體	創メテ使用セラレタル年
イ(一名ゲンノシヨウコ) 根ノ皮及カヤノ實	不明	十二錢	草 根ノ皮及カヤノ實	不明
菖蒲ノ根	不明		菖蒲ノ根	明治三十年二月
菊ノ葉	同		菊ノ葉	同
梅漬ノ水	同		梅漬ノ水	同